事業番号	15　09　03

事業改善シート（31年度実施事業分）

■当初要求　□当初予算案　□補正予算案　□点検

事業名	教職員の福利厚生支援事業	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課
		実施期間	S25 ～	E-mail	hokenko@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
総合的に展開する重点政策	4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援

1　事業の概要

現状（予算編成時）	○教職員の精神系疾患による長期療養休暇・休職者数は、平成29年度は138人と、平成20年度以降では最小となっている。 ○教職員住宅保有状況（平成30年5月1日現在）・・・232棟、1,402戸（入居率69.5%）	31年度要求額	211,026 千円
		職員数	2.00 人
目指す姿	○教職員が意欲を持って教育活動に専念するため、健康管理、健康づくりを支援する。特にメンタルヘルス不調の未然防止と休業後の円滑な職場復帰を図る。 ○教職員の生活安定のため、教職員住宅を配置しているが、ファシリティマネジメントの観点から、より効果的な管理に努めその充実を図る。 （主な実施内容：ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞ別ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修会、管理監督者ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修会、教職員住宅の修繕等工事　など）		

事業コスト

区分（単位：千円）		29年度	30年度	31要求	31予算案
予算額	前年度繰越				
	当初予算	216,076	217,092	211,026	
	補正予算				
	合計（A）	216,076	217,092	211,026	0
Aの財源	一般財源	9,328	15,974	23,686	
	県債				
	国庫支出金				
	その他	206,748	201,118	187,340	0
決算額（B）		206,169			
概算人件費	職員数（人）	2.0	2.0	2.0	
	概算人件費（C）	16,204	16,204	16,204	0
概算事業費（B(A)+C）		222,373	233,296	227,230	0

指標及びその達成状況

No	成果指標	29年度末	30年度末（見込）	31年度 目標値	31年度 成果	31年度 達成状況
①	ライフステージ別メンタルヘルス研修会参加者のアンケート満足度	95.5	96.2	H29実績を上回る		
②	管理監督者メンタルヘルス研修会参加者のアンケート満足度	98.7	99.3	H29実績を上回る		
③	教職員住宅入居率	67.1	69.5	H29実績を上回る		

成果指標設定理由	①②教職員メンタルヘルスを推進するためには、それに対する関心・理解が重要であることから、アンケートで「研修会が有意義で参考になった」という参加者の割合を目標値として設定。 ③人事異動による入居必要者数の変動により影響を受けるが、有効活用の状況を入居率により設定。

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
□監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	細事業名	31年度　実施内容（予定）	職員数（人）	30年度（当初）	31年度（要求）	31年度（予算案）
1	教職員復職訓練・健康審査・研修事業費	・精神神経系疾患休職者等の円滑な職場復帰を支援 ・メンタルヘルス研修会、管理監督者メンタルヘルス相談事業の充実	1.00	1,737	1,737	
2	教職員住宅維持管理修繕費	・「職員宿舎管理戸数適正化実行計画」に則り、活用中の宿舎の的確な修繕や維持管理を行い、長期的に活用する宿舎の長寿命化を図る	1.00	215,355	209,289	
		合計	2.00	217,092	211,026	0